



ふれあい西本郷小

令和 2 年度
10 月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和2年 9月 30日(水)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

コロナ禍での校外学習

校長 佐久間 宣朝

西本郷小学校の樹々の葉も色づき始め、朝夕の肌寒さに、秋の気配を感じます。現在学校ではコロナウィルス感染防止対策をいろいろと行っています。そうした中でも、様々工夫をして、校外学習を実施しました。

9月8日には、今年度初めの校外学習に5年生がふれあいコンサートへ行ってきました。ラッシュ時間を避け、入場者も収容人数の半数以下などの対策でした。コンサートは1時間程度となりましたが、神奈川フィルハーモニー交響楽団の素晴らしい演奏で、本物の迫力に圧倒されました。終了後は横浜市新市庁舎と横浜市議会を見学しました。市庁舎の未来的な姿と威容に「すごい。」の声が児童から聞こえてきました。市議会見学では、新議場の小学生見学の記念すべき第1号となり、市議会の議長からご挨拶をいただき、議会のなかで西本郷小学校が紹介されるというサプライズがありました。



新市庁舎がお出迎え

続いて9月24日・25日には4年生が上郷宿泊体験学習に行ってきました。児童は2週間の健康観察をしっかりと行い、貸し切りバスで出発しました。例年ならば学校からいち川プロムナードを歩いて行くところでしたが、雨天時は路線バス使用となるため、事前に貸し切りバスのピストン輸送に切り替えました。当日は台風12号が接近し、実施も危ぶまれましたが、概ね計画どおりの活動ができました。宿泊施設での感染防止対策は、本校だけの全館貸し切りで、部屋の定員の60～70%程度の人数になるように使用できる部屋を増やしていただきました。また、部屋の空気は20分ほどですべてが入れ替わる換気システムが完備されていました。食事は前向き着席でお弁当型の配膳で「いただきます」をするまでふたがされており、衛生的でした。風呂は10人くらいずつの入浴となるように入浴の回数を増やしました。こうして安全対策をしっかりと行い、コロナ禍での宿泊学習ができました。



フィールドワークのゴール

校外学習は、行った先でしかできない体験、本物に触れる体験、友達と協力し一緒に乗り越える体験として、子どもたちを大きく育ててくれます。それを作るのは子どもたちが主役であり、教職員は演出家であり大道具・小道具等の裏方です。校外学習成功のために、検討を重ね様々な工夫と準備を行い、実施してまいります。もしも児童の安全を脅かす要因が発生した時には、出発当日でも中止という判断が必要です。この際はキャンセル料が発生しますが、このたびその費用を横浜市が負担することが決定されました。また、看護師を同行させたり、密を避けるためにバスの台数を増やしたりする費用も負担していただけることになりました。この後も5年生は愛川宿泊体験学習、6年生は日光修学旅行などの校外学習が、子どもたちを待っています。しっかりと準備を行い、小学校生活の大きな思い出として子どもたちの心に残ることを願っています。



ディスクゴルフ